

## 第2回青森県消防広域化推進計画検討会議 議事概要

### 1 日 時

平成30年12月12日（水） 13：30～15：00

### 2 場 所

ラ・プラス青い森2階 カメリア

### 3 出席者

委員20名（代理出席を含む）

### 4 概 要

（1）座長あいさつ

（2）議事要旨

#### ① 事務局説明

- ・議題1 新たな青森県消防広域化推進計画の策定に係る検討状況等について  
事務局から「資料1」に基づき、計画策定に係るこれまでの検討状況等について説明。
- ・議題2 （仮称）第2次青森県消防広域化推進計画（素案）について  
事務局から「資料2」及び「資料3」に基づき、新たな推進計画の素案の内容について説明。

#### ② 各委員による意見交換（主な内容）

（委員）広域化によって消防本部と医療機関との関係が希薄化しないか。県一区などになると、顔の見える関係を構築しにくくなるのではないか。

（事務局）これまでの検討の過程で医療機関からは意見を聴いていないが、委員の意見については、広域化を進める上での留意事項として踏まえていきたい。

（委員）人口が減少する小規模な自治体の財政状況が厳しいからといって、消防力を低下させてはならない。また、消防職員についても国が責任を持つぐらいでなければ、消防の広域化は厳しいのではないか。

（事務局）広域化によって消防力を将来にわたって維持・確保していくというのが広域化の目的である。現行法制上、消防は市町村が設置することとされているが、より大きな枠組みでの広域化に課題があれば、必要に応じて、国に制度改正等を働きかけていきたい。

(委員) 消防職員と消防団員との協力体制の確保が大事である。

(事務局) 広域化の実行段階においては、消防団との連携の確保に十分留意しながら進めていきたい。

(委員) 住民サービスを第一に広域化を進めていただきたい。

(委員) 住民サービスの向上など、一般市民のための広域化である。消防本部、消防署だけのメリットではなく、住民を一番に考えて広域化を進めてほしい。

(委員) 強いリーダーシップがなければ消防の広域化は達成できない。県にその役割を担っていただき、広域化を推進してほしい。

(事務局) 広域化の取組が円滑に進むように県としても必要な支援を行っていく。

### ③ 検討結果

- ・座長から、委員の意見を踏まえ、さらに検討を加えて修正案を作成してほしいとの発言があり、修正案の内容に係る事務局との調整については、座長に一任することで同意を得た。
- ・今後、計画の素案を一部修正した上で、県民から意見を聴くパブリックコメントや市町村及び消防本部の意見聴取を行うこととなった。